取扱説明書 安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

- **ご使用の前に、この「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。
- 「安全上のご注意」は、カメラ全般と付属品の注意書きです。お買い上げの製品によっては、カメラの仕様や付属品が異なります。

■警告表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示･図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および、物的損害の可能性があります。

■図記号の例

△の記号は、注意(警告を含む)をうながす事項を示しています。
△の中に、具体的な注意内容が描かれています。
（左の絵表示は、注意することを意味します。）

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左の絵表示は、分解禁止を意味します。）

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左の絵表示は、電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

1AG6P1P2722-- (0805HS-SY)

カメラと付属品に共通のご注意

⚠警告

■煙が出ている、変な音やにおいがするときは使用を中止し、以下の処置を行う

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。

① カメラの電源を切る
② ドッキングステーション･ACアダプター･充電器使用時は電源プラグをコンセントから抜く
③ 電池を取りはずす

- 上記の処置の後、煙が出なくなったことなどを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。

■雷が鳴り出したら使わない

- 雷が鳴り出したら機器に触れないでください。感電の原因となります。特に広い野原などでの撮影や携帯は危険ですので、速やかに落雷を回避できる場所へ避難してください。

■幼児やお子様の手の届く範囲に放置しない

- 次のような思わぬ事故の原因となります。
  - ･誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
  - ･電池や小さな部品を飲み込む。
    万一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。
  - ･目の前でカメラのフラッシュが発光し、視力障害を引き起こす。
  - ･カメラなどの機器でけがをする。

■分解・改造しない

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
- 特にカメラ内部には高電圧回路があります。
- 点検･調整･修理は、お買い上げ販売店にご依頼ください。
- ACアダプターは直流電源器として使用しないでください。

カメラ本体のご注意

⚠警告

■運転中は使用しない

- 自動車やオートバイなどを運転しながらの撮影や再生、液晶モニターを見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- 自動車内にカメラを置くときは、急ブレーキなどによる落下でブレーキ操作の妨げにならないよう、置き場所に十分ご注意ください。

■撮影時は周囲の状況に注意する

- 周囲の状況を把握しないまま撮影すると、事故やけがなどの原因となります。
- 歩きながら使用するときは、事故を防ぐため周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。
- 航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故の原因となることがあります。

■ぬらさない

- カメラは防水構造になっていませんので、ぬらすと火災、感電の原因となります。
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、電源を切り、速やかに電池を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり破損した場合は、電源を切り、電池を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■太陽を見ない

- 太陽や強い光に向けて撮影しないでください。目に障害を起こす原因となります。

■フラッシュを目に近づけて発光させない

- カメラを人の目に近づけて撮影しないでください。目の近くでフラッシュを発光させると、視力障害を起こす原因となります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

■爆発の危険があるところで使用しない

- 可燃性ガスおよび爆発性ガスが大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。

⚠注意

■持ち運びの注意

- ネックストラップを首にかけたまま、あるいはハンドストラップに手を通したままカメラを持ち運ぶと、他のものに当たったりして故障やけがの原因となることがあります。持ち運ぶときは、手で押さえるかポケットに入れるなどして固定してください。
- 落としたりぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- レンズを直射日光に当てないでください。カメラ内部を傷めることがあります。撮影しないときは電源を切り、レンズキャップ付属機種はレンズキャップを取り付けてください。

■長期間使用しない場合の注意

- 安全のため電池を取りはずしてください。電池の発熱や液漏れなどにより、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となることがあります。

■使用･保管場所の注意

- カメラは精密な電子部品で構成されています。温度や湿度変化の激しい場所、水やほこりのある場所などでは使用しないでください。動作不良や故障の原因となることがあります。

使用環境：
- 温度　0℃～40℃（動作時）
  　　　－20℃～60℃（保管時）
- 湿度　30％～90％（動作時、非結露）
  　　　10％～90％（保管時、非結露）

■布や布団でおおったり、包んだりしない

- 熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因になることがあります。

ドッキングステーションとACアダプター・充電器のご注意

⚠危険

■指定された品番の当社製リチウムイオン電池以外は充電しない
- 乾電池や他の充電式電池を充電すると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となります。

■電源電圧AC100V～240Vで使用する
- AC100V～240V以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因となります。ただし、電源コードの定格はAC125Vですので、海外でお使いになる場合は、電源コードをその地域や国にあったものに取り替える必要があります。詳しくはお買い上げ販売店または、もよりの「お客さまご相談窓口」（取扱説明書に記載）にお問い合わせください。

■ぬらさない
- 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜き、速やかに電池を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

⚠警告

■電源プラグの注意
- 電源プラグはコンセントへ根元まで確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 電源プラグを根元まで接続してもゆるみがあるコンセントは、使用しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。
- 電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- 電源プラグやコンセント、それらの周辺にほこりなどを付着させないでください。ショートや発熱が起こり、火災の原因となります。付着したほこり・よごれなどは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除いてください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らないでください。電源プラグが傷み、火災、感電の原因となります。

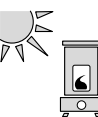
■電源コードを傷つけない
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具を近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。電源コードが傷み、火災、感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだり、電源プラグに接触不良が生じた場合は、すぐにお買い上げ販売店にご連絡ください。

■電源コードの注意
- 電源コードのプラグをコンセントに差し込んだまま、ACアダプター・充電器の電源ソケットから電源コードを抜いた状態にしないでください。ぬれた手で触れたり幼児が口に入れたりすると、感電の原因となります。
- 必ず付属の電源コードを使用してください。他の電源コードを使った場合は、コードの電流容量などの違いにより火災の原因となります。
- 付属の電源コードはこのカメラのACアダプター・充電器専用です。火災、感電の原因となりますので、他の機器には接続しないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。

■ぬれた手で電源プラグをさわらない
- 感電の原因となります。

⚠注意

■不安定な場所に置かない
- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり破損した場合は、電池を取りはずして、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

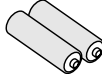
■使用上の注意
- 付属または指定された品番のドッキングステーションおよびACアダプター・充電器を使用してください。
- 他のドッキングステーションおよびACアダプター・充電器を使用すると、故障の原因となることがあります。また、火災や感電など思わぬ事故が起きる可能性があります。
  付属または指定された品番のドッキングステーションおよびACアダプター・充電器は、指定の機器にのみご使用ください。他の機器への接続は絶対に行わないでください。故障の原因となります。

■使用・保管場所の注意
- ストーブの前など発熱体の近くや直射日光の当たるところなどでは使用しないでください。動作不良や故障の原因となることがあります。

使用環境：		
• 温度	0℃～40℃	（充電時）
	−20℃～60℃	（保管時）
• 湿度	20％～80％	（充電時、保管時）

- 旅行などで長期間ご使用にならない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になることがあります。

カードのご注意

⚠注意

■カードの注意
- 使用直後のカードは高温になることがあります。カードの取りはずしは、カメラの電源を切りカードの温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 幼児やお子様の手の届くところに放置しないでください。誤って口に入れるなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

■カードの取り扱い上のご注意
- カードは精密部品です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 極端に高温や低温になる場所、直射日光の当たる場所、しめきった車の中、暖房器具のそば、湿気やほこりの多い場所での使用や保管はさけてください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところでのご使用・保管は避けてください。
- カードの端子部に、ごみや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったとき等に力が加わり、壊れることがあります。
- 他の機器で使用していたり、未使用のカードは、必ず本機で初期化（フォーマット）をしてからご使用ください。初期化の方法については取扱説明書をお読みください。
- 市販品をご使用になる場合は、カードに付属の取扱説明書をよくお読みください。

電池についてのご注意

安全上のご注意 （下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）		電池の種類と危険の度合 （お買い上げ製品によって異なりますのでご確認ください。） 充電式のリチウムイオン電池	アルカリ乾電池	リモコン用のリチウム電池
禁止	**■当社製電池以外は使用しない** •指定された品番の当社製電池以外は使用しないでください。安全のため、模造品は使用しないでください。乾電池や他の充電式電池を使用すると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となります。	⚠危険	—	
⚠	**■液漏れ、変色、変形、外傷、変なにおいなどに気付いたときは、すぐにカメラから取り出して使用を中止し、火気から遠ざける** •異常状態のまま使用を続けると、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。 •液漏れしている場合は、火気に近づけると電池の電解液に引火し、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。	⚠危険		⚠警告
分解禁止	**■変形・分解・改造しない** •変形、分解、電池に直接半田付けするなどの改造をすると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れの原因となります。	⚠危険	⚠警告	
禁止	**■プラス⊕とマイナス⊖を針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない** •ショート状態になり、過大な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。また、針金やネックレスなどの金属が発熱する原因となります。	⚠危険	⚠警告	
禁止	**■火中に投入したり、加熱しない** •絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりするため、発火、破裂の原因となります。	⚠危険	⚠警告	
禁止	**■落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない** •安全機構や保護装置が壊れて電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	⚠警告	
水ぬれ禁止	**■水や海水につけたり、端子部分をぬらさない** •腐食により安全機構や保護装置が壊れて電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	⚠警告	
禁止	**■付属または指定された品番のドッキングステーションまたはACアダプター・充電器以外では充電しない** •他の充電器で充電すると、過度あるいは異常な電流での充電状態となって電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	—	
禁止	**■指定機器以外の用途に使用しない** •指定機器以外の用途に使用すると、異常な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	⚠警告	
禁止	**■外装をはがしたり、傷つけたりしない** •外装をはがす、釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなどすると電池内部でショート状態となり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	⚠警告	
⚠	**■電池から漏れ出た液がついたときは、すぐに洗い流す** •万一液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずにきれいな水で洗った後、ただちに医師にご相談ください。液が皮膚や衣服についたときは、皮膚に障害をおこすおそれがあります。ただちにきれいな水でよく洗い流してください。	⚠危険	⚠警告	
⚠	**■指示通りに入れる** •極性（プラス⊕とマイナス⊖）に注意し、表示通りに入れてください。 •万一極性を逆に入れた場合、充電時には異常な化学反応が起こったり、使用時には異常な電流が流れたりして発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	⚠警告	
禁止	**■所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止める** •そのまま続けて充電すると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠警告	—	
⚠	**■充電して使う** •お買い上げ後初めての使用や、長時間使用しなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。充電中に電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。	⚠注意	—	
⚠	**■使用直後は高温になることがある** •電池の取りはずしは、カメラの電源を切り電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。	⚠注意		—
⚠ Li-ion リチウムイオン電池はリサイクルへ	**■廃棄とリサイクルについて** •電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。 •リチウムイオン電池は、環境保護と資源の有効利用をはかるため、ご使用済みの電池は放電状態にした後、プラス⊕端子とマイナス⊖端子にテープをはり、絶縁状態にしてから、リサイクルにご協力ください。	⚠注意		

■乾電池の一般注意事項（アルカリ乾電池使用機種の場合）

- **アルカリ乾電池または指定の電池を使用してください。マンガン乾電池は電池の寿命が短いばかりではなく、電池の発熱などにより本機の故障や事故の原因となることがありますので、使用できません。**
- アルカリ乾電池とニカド乾電池など種類やメーカーの異なる電池を混ぜたり、新しい電池と古い電池を混ぜたり、さらに消耗した電池を混ぜて使用すると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 外装チューブがついていないなどの粗悪な電池を使用すると、火災、けが、やけどの原因となります。
- 乾電池は充電しないでください。
- カメラを長期間使用しない場合は、電池を取りはずし、涼しい場所で保管してください。
- アルカリ乾電池の代わりに指定の充電池をご使用の場合は、専用の充電器で完全に充電してください。ご使用になる充電池および充電器の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■充電式のリチウムイオン電池の使用・保管場所の注意

- **使用時・充電時温度：0℃〜40℃**
- **火のそばや炎天下の車中など（60℃以上になるところ）での使用や充電、保管、放置はしないでください。**
- 高温になると、電池内の安全機構や保護装置が壊れて、異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。安全機構や保護装置が壊れると、電池は使用不可能になります。
  極端な高温や低温環境では、電池の容量が低下し、使用できる時間が短くなります。また、電池の寿命も短くなります。
- 満充電に近い状態での保管は避けてください。ほぼ使い切った状態での保管をおすすめします。
- 過放電状態になると、充電しても使えなくなることがありますので、半年に1回5分程度充電してください。
- **保管時温度：−10℃〜30℃**
  電池を使用しないときは、機器からはずし、−10℃〜30℃で湿気のない場所で保管してください。
- **湿度：10%〜90%（非結露）**

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■大切な撮影は事前に確認を

- 大切な撮影をされる場合は、正常に撮影ができることを確認してください。
- 本機や別売の機器、ソフトウェアなどを使用中、万一これらの不具合により撮影や記録できなかった場合、撮影内容の補償や、撮影・記録できなかったことによる損失の補償については、ご容赦ください。

■著作権法について

- あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的であっても撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。
- 著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■お手入れとご注意

お手入れのしかた

① **電源を切って、電池を取りはずす**

（ACアダプターなどは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く）

② **柔らかい布で汚れを軽くふき取る**

汚れがひどいときは…

③ **水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる**

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- カメラに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間、接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■電池について

- 電池の端子部（接点）は、時々、乾いた布などで汚れをふき取ってください。電池の端子部を直接手で触れると、汚れが付着して酸化し、接触抵抗値の増加が発生することがあります。接触抵抗値が増加すると、電池の使用可能時間が短くなる原因となります。

■レンズのお手入れとご注意

- レンズが汚れたら、市販のブロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。

■長期間使用しないときは

- 電池を取りはずしてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電池を入れて作動させてください。
- カメラの機構上、電源を切っても微少電流が流れています。充電式電池を長時間カメラに入れたままにすると、過放電状態になり、場合によっては充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。

■露つき（結露）のご注意

- カメラに露つきが起きた状態で使用すると、故障する場合があります。

露つきとは…

- よく冷えた水をコップに注ぐと、コップのまわりに水滴がつきます。これと同じように、カメラ内部にも水滴がつくことがあります。このような状態を露つき（結露）といいます。

露つきが起こりそうなときは…

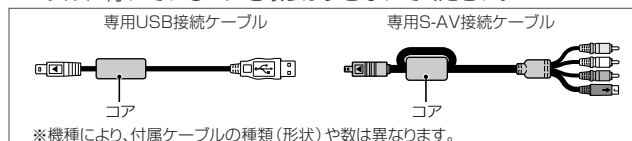
- カメラをポリ袋などに入れて密封し、周囲の温度になじませてから使用してください。

このようなときは、露つきにご注意

- 寒い所から急に暖かい部屋に持ち込んだとき
- 部屋を急激に暖房するなど、急に周りの温度が変わるとき
- エアコンなどの冷風が、直接当たる所に置いたとき
- 湿気の多い所に置いたとき

■不要電波の放射にご注意

- カメラをテレビやラジオの近くでご使用になると、受信障害が起きることがあります。不要電波の放射を軽減するために、付属のケーブルに付いているコアを取りはずさないでください。

※機種により、付属ケーブルの種類（形状）や数は異なります。

- ラジオやテレビの近くでドッキングステーションおよびACアダプター・充電器を使用すると、AM放送に雑音が入ったり、画面に妨害ノイズが出るなどの受信障害が起こることがありますので、離してご使用ください。

■磁気にご注意（スピーカー搭載カメラの場合）

- スピーカーのそばにクレジットカードやキャッシュカード、磁気定期券、フロッピーディスクなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データがこわれて、使用できなくなることがあります。

■データ保存について

- 大切なデータは別のメディア（ハードディスク・MOディスク・CD-Rなど）へコピーされることをおすすめします。
- 下記などの場合、記録したデータが消失（破壊）することがありデータの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
  - ・カードの使用方法を誤ったとき
  - ・カードが正しく機器に装着されなかったとき
  - ・カードが電気的・機械的なショックや力を受けたとき
  - ・カードへのアクセス中に、カードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
  - ・カードが寿命になったとき

■温度上昇についてご注意

- 撮影中にカメラ内部の温度が上昇すると、液晶モニターにアイコンが出ます。アイコンが出ても撮影/再生はできますが、さらに温度が上昇すると撮影ができなくなります（再生はできます）。このような場合はできるだけ早く撮影を中止し、温度が下がるのを待ってから使用を再開してください。
  特に動画クリップ撮影時は、アイコンが出た後、しばらくすると撮影可能時間表示が出て、その数値が00:00:00になると撮影できなくなりますので、ご注意ください。

三洋電機株式会社